

TEMPAX Float® - 光学的特性

優れた特性の和がもたらす独自性

ドイツで製造されたTEMPAX Float®は、世界で初めてフロート製法によって作られたホウケイ酸ガラスです。極めて優れた熱的、光学的、化学的、機械的特性と、高い品質と卓越した平坦性を有する高品質なガラスです。

TEMPAX Float®の化学組成と物理的特性はDIN ISO 3585および DIN EN 1748T1に準拠しています。TEMPAX Float®を再発見し、最も汎用性の高いガラス素材の無限の可能性を経験してください。TEMPAX Float® - クオリティーによるひらめき



TEMPAX Float® 製光学ホイール

主な特長

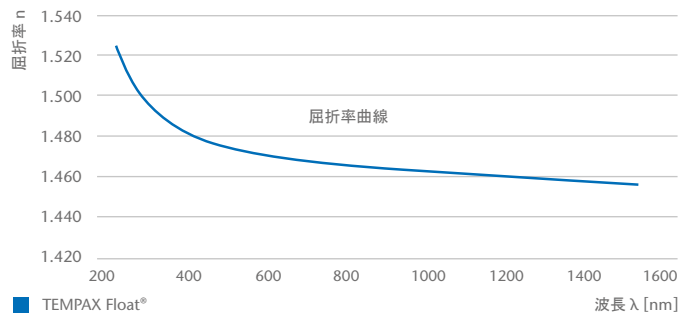
並はずれて高い透過性

- ・ 可視光、近赤外および近紫外の波長領域における高い透過率
- ・ 卓越した外観と光学的透明度
- ・ 蛍光発光が小さく、ソラリゼーションしにくい

分散

	$n_{248.3}^*$	$n_{296.7}$	n_i	n_g	n_f	n_e	n_d	$n_{632.8}$	n_c	n_s	n_t	$n_{1529.6}$
λ	248.3	296.7	365.0	435.8	480.0	546.1	587.6	632.8	643.8	852.1	1014.0	1529.6
n	1.525	1.504	1.489	1.480	1.477	1.473	1.471	1.470	1.470	1.465	1.463	1.456

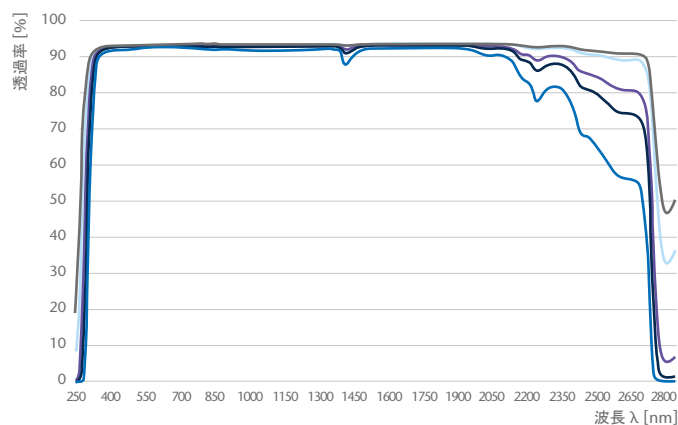
* 分散曲線の外挿による計算値



光学データ	
アッペ数 ($v_e = (n_e - 1) / (n_f - n_c)$)	65.41
屈折率 (n_d)	1.471
分散 ($n_f - n_c$)	71.4×10^{-4}
光弾性定数 (K)	$4.0 \times 10^{-6} \text{ mm}^2 \text{ N}^{-1}$

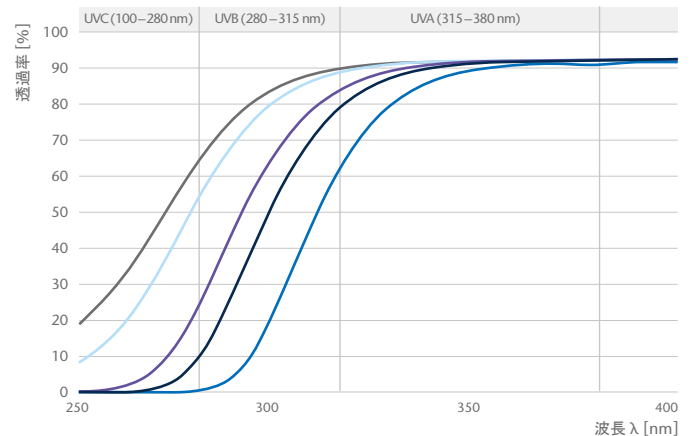
参考値(保証値ではありません)

250~2800nmでの透過率



■ 板厚 0.7 mm ■ 板厚 1.1 mm ■ 板厚 3.3 mm ■ 板厚 5.0 mm ■ 板厚 11.0 mm

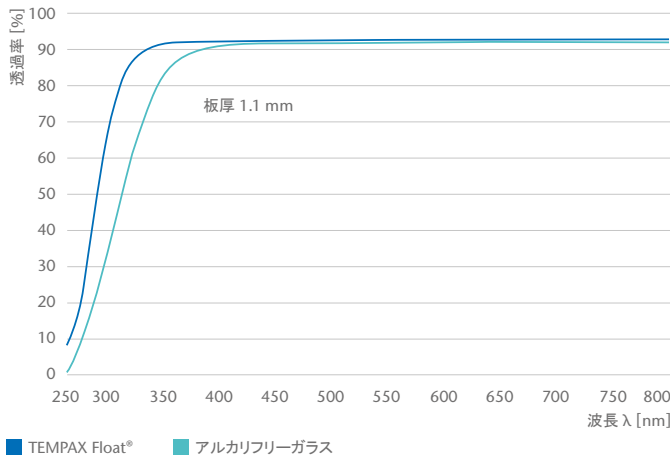
250~400nmでの透過率



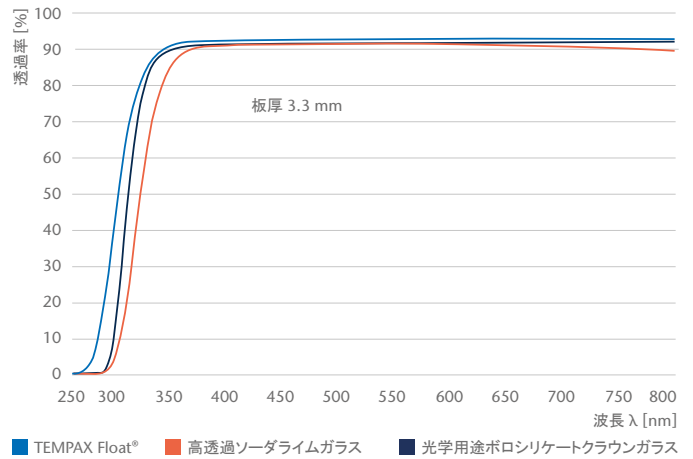
SCHOTT
glass made of ideas

250 – 800 nmでの透過率 – TEMPAX Float® とさまざまなガラス材料の比較

薄いガラス基板を必要とするアプリケーション向け



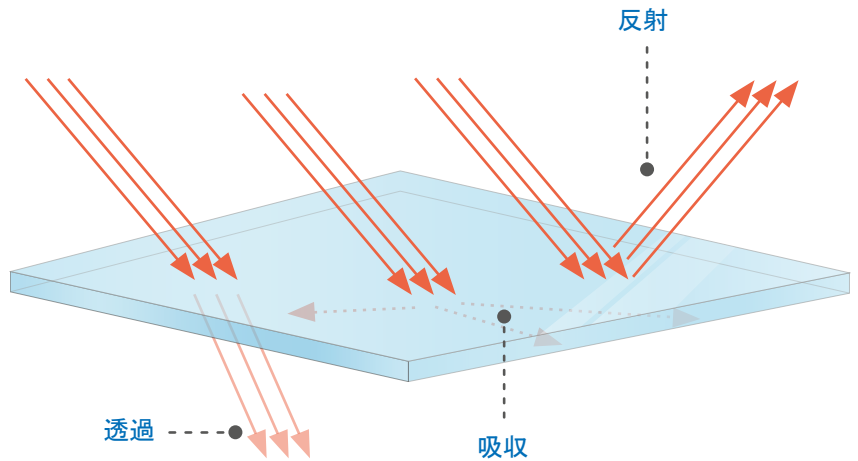
より厚いガラス基板を必要とするアプリケーション向け



光の放射

ガラスは一定量の光エネルギーを透過します。入射光エネルギーは、吸収と反射によって減少します(最大8%)*。反射、透過、吸収の合計は100%です。ガラスの組成、ネットワーク構造、ガラスの厚さ、および光の波長は、光エネルギーの透過強度に直接影響します。

*フロートガラスは、通常、約8%の反射損失(表裏面合計)があります。



紫外線透過率 τ_{UV} および可視光透過率 τ_V

紫外線透過率 τ_{UV} および可視光透過率 τ_V は、DIN EN 410:2011-04に記載されている方法による計算値です。このヨーロッパ規格は、建物の窓の明るさと採光特性を決定する方法を示しています。

		TEMPAX Float®							高透過ソーダライムガラス		アルカリフリーガラス*
ガラス厚	mm	0.7	1.1	3.3	3.8	5.0	9.0	11.0	3.3	5	1.1
τ_{UV} (280–380 nm)	%	91.8	91.6	90.5	89.9	89.3	85.9	84.9	83.7	80.0	84.1
τ_V (380–780 nm)	%	92.8	92.7	92.6	92.5	92.5	92.0	91.9	91.5	91.0	92.3

* TFT-LCD ガラス

データシートに記載されているすべての値は、参照値で保証するものではありません。

シュott日本株式会社
〒160-0004
東京都新宿区四谷4-16-3 (9階)
電話: 03-5366-2491
Fax: 03-5366-2481

sn.info@schott.com
www.schott.com/japan

